

9.愛染院根本寺～白鳥の里コースガイド

愛染院根本寺駐車場→愛染院根本寺→亀の井ホテル入口坂横

→農道→北浦湖岸→白鳥の里→愛染院根本寺駐車場

集合場所：愛染院駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

愛染院根本寺～白鳥の里コースガイド 【所要時間】約2時間

愛染院根本寺駐車場→愛染院根本寺→亀の井ホテル入口坂横右折→農道

→北浦湖岸→白鳥の里→愛染院根本寺駐車場

1. 愛染院根本寺（通称：水原の観音様）

山号：東雲山、院号：愛染院、宗派：真言宗豊山派、本尊：如意輪觀世音菩薩、愛染明王。創建は天喜5年（1057年）源義家が前九年合戦に臨む際、この地で暴風に遭い不思議な靈夢を見て、後冷泉天皇から賜った如意輪觀世音菩薩像を安置して7日7晩の水行をし武運長久を祈願したところ、満願の日に穏やかに晴れ鹿島に渡りました。義家は靈地と悟り守護仏に更に深く帰依し、草庵を建立し円通閣主を招いて開山したのが始まりと伝えられています。江戸時代に入ると麻生藩新庄氏の祈願所になり庇護されます。元禄7年（1694年）には宥範和尚により堂宇が再建されました。

現在の鐘楼門は享保年間（1716～1735年）に建てられた三軒一戸、入母屋、銅板葺、2層目に高欄を廻し外部表しになっている構造体を朱色に塗っている建物で江戸時代中期の楼門建築の遺構として貴重なことから市指定有形文化財に指定されています。観音堂は享保4年（1719年）に建てられ、三間四面、寄棟、銅板葺、正面に一間向背が付き建物全体が朱色に塗られ、細部の組物や精巧な彫刻が随所に施され、見ごたえある建物で江戸時代中期の寺院御堂建築の遺構として市指定有形文化財にしていされています。弘法大師空海が弘仁元年（810年）に彫り込んだとされる如意輪觀世音菩薩像（室町時代制作、檜材、寄木造、像高59.4cm 胎内仏：藤原時代制作、一木造、像高5.9cm）と鍍金八角釣灯籠（元禄14年（1701年）福田村伊能三右工門奉納、高さ45cm、周囲70cm、重さ3.5kg）は共に茨城県指定重要文化財に指定されています。



鐘楼門



観音堂



金堂



境内

↓ 40分

2. 亀の井ホテル入口坂横右折農道

↓ 5分

3. 北浦湖岸散策

北浦湖岸沿いを左側に北浦大橋、前方対岸鹿嶋市、右側に工業地帯の煙突、湖面に跳ねる魚や泳ぐ水鳥を見ながら、ウォーキングします。



遠くに北浦大橋が見える



対岸は鹿嶋市

↓ 40分

4. 白鳥の里

北浦「白鳥の里」は白鳥や鴨やユリカモメなど水鳥との触れ合いを一年中楽しめる無料の観光スポットです。

間近で写真撮影もでき、インスタグラムなどのSNS映え抜群です。

初めて白鳥が飛来したのは昭和56年度に6羽で、逐年増加し平成25年度に130羽と初めて100羽を越し、令和2年度430羽、令和5年度600羽と数を増やしています。白鳥は日の出とともに目覚め、付近の田園、水田へ餌を求めて飛び立ちます。

その後夕方頃まで採食をし、終わると白鳥の里へ戻ってきます。そのため朝方と夕方が白鳥に会いやすい時間帯となっています。夕方20～30羽の編隊を組んで鳴きながら北浦へ帰っていく白鳥達をよく見かけますが冬の風物詩の一つでもあります。

ご家族連れての野鳥観察やスケッチ、自然とのふれあいの場として人気です。

※北浦に飛来する白鳥の種類…コブハクチョウ、オオハクチョウ、コハクチョウ

11月下旬から3月上旬まで見られます。



↓ 35分

(5) 愛染院根本寺駐車場

9 - 3 (41)